

広島空港特定運営事業等 2021年度 事業計画

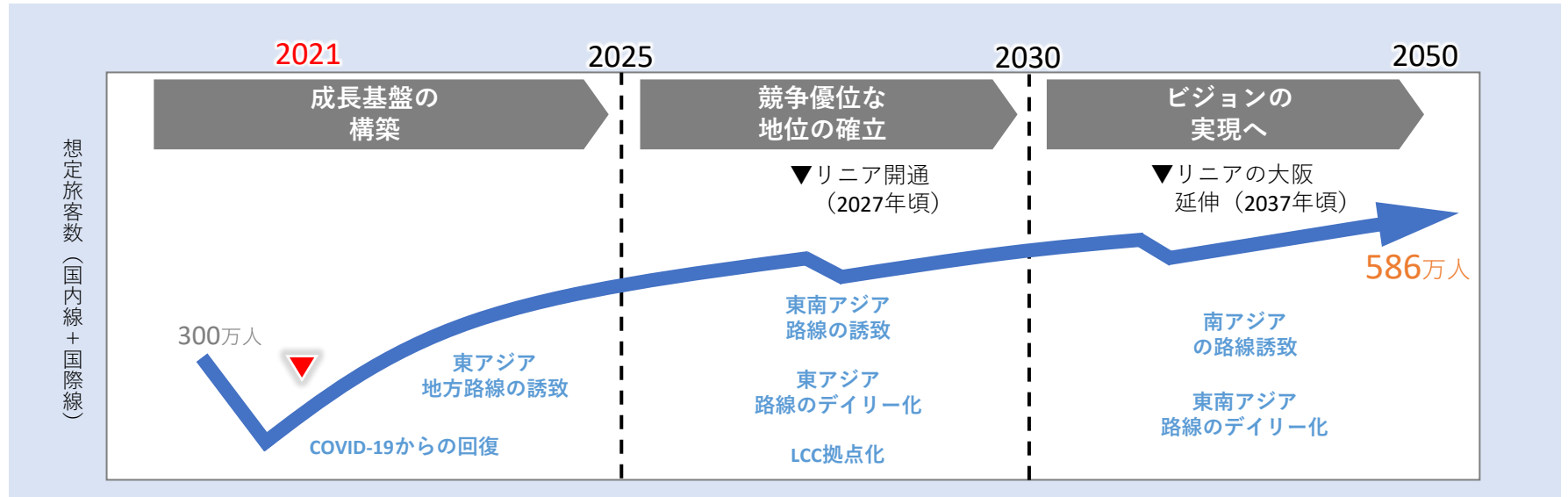


広島国際空港株式会社

2021年度方針

事業期間終了時
(2050年度)
におけるビジョン

中四国の持続的成長を牽引し続ける圧倒的No.1ゲートウェイ
広島空港を「あらゆる旅行者に最も選ばれる玄関口」へ、中四国を「世界に選ばれる目的地」へ



2021年度の方針

- ・ 万全の安全・保安体制を構築し、円滑に空港運營業務を承継する
- ・ WITHコロナ・AFTERコロナにおける旅行需要を喚起するために、関係者との強固な連携体制を構築する
- ・ 航空需要回復に向けて、ソフト・ハード両面において、旅客とエアラインの受入態勢整備に着手する

■ 旅客数・貨物量目標

		2021年度
(万人)	国内線	166.5
	国際線	3.6
貨物量(千t)		12

■ 投資計画

(億円)

	2021年度	投資内容
運営権設定施設	10	航空灯火等
非運営権設定施設	12	特定天井改修、ビル施設改修等
投資合計	22	

事業方針と2021年度の具体的施策

2021年度の具体的施策

航空 ネットワーク

- コロナ禍におけるエアラインの航空需要動向の変化に機動的に対応するとともに、既存路線の需要回復に向けたマーケティング戦略を推進する
- 運休路線の早期復便と新規路線の誘致のために、国内外の様々なエアラインに対して事業方針に基づく戦略的な営業活動を実施する

交通 アクセス

- 駐車場容量の拡大とサービスの向上に向けた計画策定を行う
- 各交通事業者に対してきめ細やかなフォローをおこない、交通拠点化のための連携体制構築を開始する

空港施設等の 運用

- 関係省庁の指導に基づき、当空港における新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、国際線旅客受入に向けた抗原検査場等を整備する
- 航空需要の回復を見据え、施設容量の拡大・利用者利便性の向上に向けた施設整備計画を策定する

地域連携 ・地域共生

- 地域共生の専門部署を設置し、周辺地域と従前以上に対話機会を設ける
- 「広島空港サポーターズ倶楽部」を組成し、中四国の法人航空需要の回復・拡大に取り組む
- 国内外に向けて地域の魅力を発信することで、中四国を目的地とする観光需要を創造する
- 各種プロモーションや旅行商品の造成支援等を通じて観光需要の回復・拡大に取り組み、広島空港利用の増加につなげる

安全・安心

- ビル施設等事業（昨年度から実施）と一体となった、安全・保安推進体制を構築することにより、空港運営事業を確実に承継する
- 大規模自然災害に備え、旅客ターミナルビルの安全対策工事に着手する

特定天井改修工事

